

令和4年度 病害虫防除情報

令和4年8月3日
福島県病害虫防除所

県内全域で斑点米カメムシ類が多く発生しています。
今後の気温が高いと予想されており、被害が増えるおそれがありますので、
防除を確実に実施してください。

- 1 対象作物：水稲
- 2 病害虫：斑点米カメムシ類
- 3 対象地域：県内全域

発生状況

- (1) 斑点米カメムシ類（以下、カメムシという）の発生地点割合は、この10年ほど高い傾向にあり、斑点米被害は毎年問題となっています。7月中下旬のすくい取り調査では、水田畦畔、本田ともに平年並に多くの地点で発生が確認されました（図1、2）。
- (2) 加害種別では、アサスジカスミカメ（写真1）、アカヒゲホソミドリカスミカメ（写真2）、ホソハリカメムシ（写真3）が県内全域の多くの地点で捕獲されたほか、県南と浜通りではクモヘリカメムシ（写真4）の発生地点が多くなっています（図3、4）。
- (3) 天候予報（仙台管区气象台7月28日発表）によると、向こう1か月の気温は高いと予想されており、カメムシの活動が活発化し、出穂後の水田内侵入による密度上昇が懸念されます。

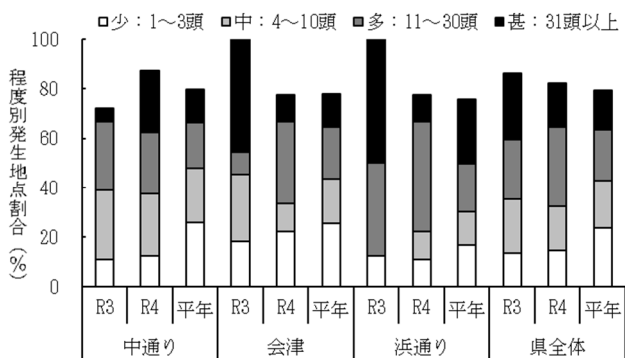


図1 すくい取り調査による斑点米カメムシ類の発生状況（7月中下旬・水田畦畔）

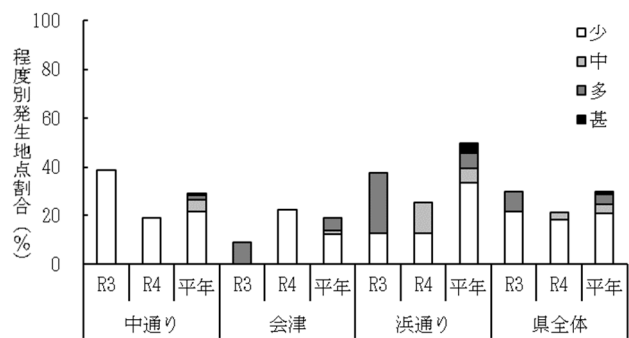


図2 すくい取り調査による斑点米カメムシ類の発生状況（7月中下旬・本田）

注) 調査地点数：中通り15、会津8、浜通り7（水田畦畔のみ浜通り8）

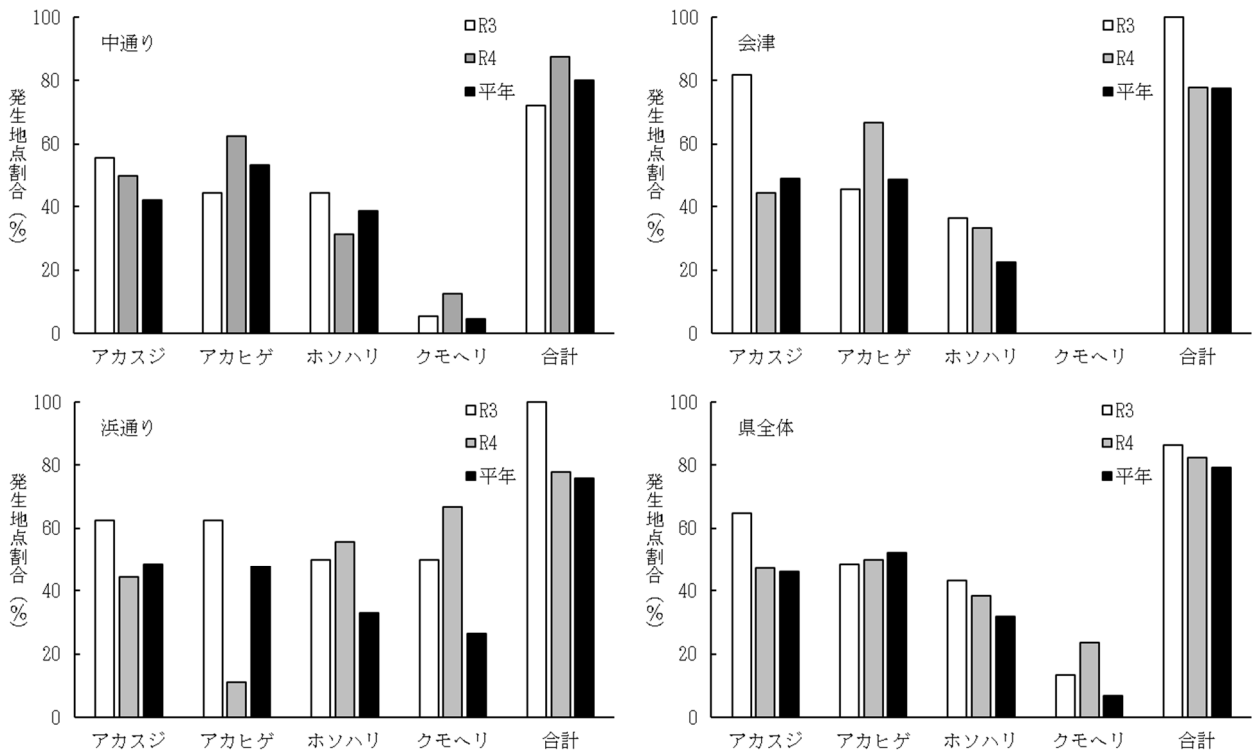


図3 すくい取り調査による斑点米カメムシ類の種別発生状況（7月中下旬・畦畔）

注）合計にはその他の斑点米カメムシ類を含む

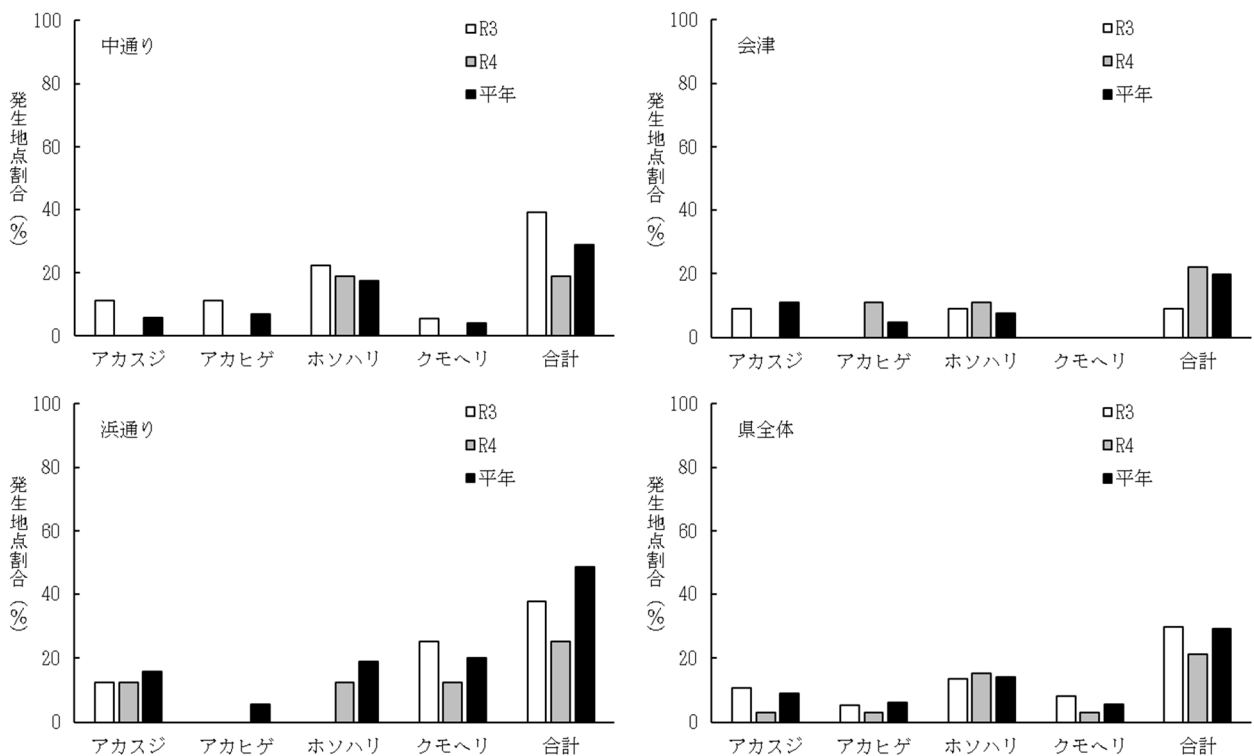


図4 すくい取り調査による斑点米カメムシ類の種別発生状況（7月中下旬・本田）

注）合計にはその他の斑点米カメムシ類を含む

防除対策

(出穂期以降の対策)

- (1) カメムシは、出穂期を迎えると水田に侵入するため、出穂の早い水田に被害が集中します。早生品種や移植時期が早く、周囲と比べて出穂の早いほ場では、カメムシの発生に注意し、出穂期以降に水田内でカメムシの発生がみられた場合は薬剤防除を行ってください。
- (2) 散布剤による防除は、カスミカメ類が優占する場合は乳熟期（出穂7～10日後頃）、クモヘリカメムシが優占する場合は出穂期～穂揃期（出穂4日後頃）を1回目の散布時期とし、その後も発生が多い場合は7日おきを目安として追加防除を行ってください。防除の目安は、出穂期～乳熟期の本田内すくい取り（20回振り）での捕獲頭数が2～4頭以上です。
- (3) 水面施用剤を使用する場合は、穂揃期～乳熟期に湛水状態で散布し、その後7日以上止水してください。その後、多発が予想される場合は散布剤による防除を行ってください。なお、水面施用剤は、クモヘリカメムシなどの大型カメムシに対しては効果が劣る場合があるため、液剤や粉剤を使用してください。
- (4) 「天のつぶ」など、割れ粃の発生しやすい品種では特にカスミカメ類による被害が助長されやすいため、注意してください。
- (5) 使用薬剤及び注意事項については、福島県病害虫防除所ホームページ (<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>) 掲載の「水稻病害虫防除対策（8月）」を参照してください。



写真1 アカスジカスミカメ (体長5mm程度)



写真2 アカヒゲホソモドリカスミカメ (体長6mm程度)



写真3 ホソハリカメムシ (体長10mm程度)



写真4 クモヘリカメムシ (体長16mm程度)

- 情報内容への質問や要望は、福島県農業総合センター安全農業推進部発生予察課（病害虫防除所）までご連絡ください（TEL 024-958-1709 FAX 024-958-1727）
- 本情報は、福島県病害虫防除所ホームページ (<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>) にも掲載しています。